

介護・医療連携推進会議開催報告書

令和 6年 8月 20日

事業所名	定期巡回 ゆい 青葉		
担当者	谷川秀樹	電話番号	045-532-4747
1 開催日時	令和 6年 8月 20日 14:30 ~ 15:00		
2 開催場所	オンライン		
3 出席者	出欠		
(1) 委員 16 人	欠席		(利用者・利用者家族)
	出席		(地域住民の代表者)
	出席		(定期巡回・随時対応型訪問介護看護について知見を有する者)
	出席		(定期巡回・随時対応型訪問介護看護について知見を有する者)
	出席		(定期巡回・随時対応型訪問介護看護について知見を有する者)
	出席		(定期巡回・随時対応型訪問介護看護について知見を有する者)
	出席		(横浜市職員、区職員、地域包括支援センター職員)
	出席		(横浜市職員、区職員、地域包括支援センター職員)
(2) 事務局 1 人	出席		(横浜市職員、区職員、地域包括支援センター職員)
	出席		(横浜市職員、区職員、地域包括支援センター職員)
4 活動状況報告	別紙のとおり		
5 活動状況に関する評価	<p>地域代表：聞けば聞くほど皆さんが大変なことをやっていることが良く分かった。 (詳しいことについては)分からないこともあるが追々勉強させていただければと思う。</p> <p>看護師①：要介護4から1への変化の事例については定期巡回のサービスの力だと思し勉強になった。 癌末の方のコール器の利用についても看護師としてはとても助かっており感謝している。 毎回薬の変更や状況の変化に応じてサービス内容が変わる毎に対応いただいている。</p> <p>看護師②：ノートに日々の状況を細かく書いていただき、頻回に訪問するからこそ気づきや、利用者の困りごとを知ることができる。皮膚状況なども共有してもらえて助かっている。</p> <p>包括①：本人の思いを書いてもらう日記を共有できたことが自立支援に繋がった良い事例だと思う。 包括②：本人だけではなく、家族支援も含めて細やかに対応していただいております。 包括③：一人暮らしや親族疎遠などで家族サポートが受けられない方が多く、また医療依存度が高い在宅の方も増えているが定期巡回のようにコマメにサポートしていただけるサービスは重要。</p>		
6 要望、助言	<p>① 利用者さんの意見を尊重した関わりを今後も継続して欲しい。</p> <p>② 看護師の携帯より定期のコール器の方が使いやすく、定期経由の連絡も多い。看護師としては大変助かっており、今後もこのような形で連携を継続していければと思っている。</p> <p>③ 今後も連絡ノートなどを通じた細やかな連携をお願いします。</p> <p>④ 詳しいことは良く分からないので追々勉強させていただければと思う</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p>		
7 要望、助言に対する考え方	<p>① 自立支援に向けて、定期巡回の特徴を生かし利用者の意思を尊重した関わりを今後も継続する。</p> <p>② 利用者に応じた工夫を今後も行い、その人らしく生きることができる支援を心がける。</p> <p>③ 看護師との連携について概ね良い評価をいただいているので、今後も継続する。</p> <p>④ 地域でサービスを紹介するイベントなどがあれば参加してサービスを知ってもらえるようにする。</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p>		

8 その他特記事項	
①	包括の実習生も参加し、以下の感想をいただいた。 大学ではどのようなサービスが良いかは勉強するが、その後の経過までは考えない。 サービス導入後の利用者様の様子に変化している事例報告については驚いたし勉強になった。
②	
③	
④	